

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域資料保存事業
事業主体 (連絡先)	下諏訪町
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	489,898円 (うち支援金: 367,000円)

事業内容

1. 町内の歴史的写真の保存
写真428枚をデジタル化し、聞き取り内容の情報を付加して保存した。
2. ワークショップ「写真昔語り」の開催
平成30年3月18日に開催。参加者25名。DVD化した映像の上映、デジタル化した写真80枚の上映と写真提供者による解説を行った。
3. 町内の歴史的映像の保存
8mmフィルム9本、16mmフィルム2本をDVD化した。



【写真昔語り】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 町内の歴史的写真428枚のデジタル化を実施。目標の300枚を超過達成できた。当初、町内の写真館所蔵の写真を対象にしていたが、町民、公民館等から写真の提供があり、事業に対する理解・協力が広がった。来年度はパネル化した写真を町内施設に展示し、イベントを開催する。
2. ワークショップ「写真昔語り」では、開催の様子が地域新聞に掲載され、「次回はいつ開催されるのか」「デジタル化した写真はどこで見られるか。」との問い合わせが多数あり、多くの方に周知、関心を持ってもらうことができた。
3. 町内の歴史的映像の保存では、目標の9本を超過達成できた。うち3本の映像は「御柱館よいさ」「博物館」に提供するほか、成果物を活用いただけるよう、図書館の蔵書として貸出を開始した。

【目標・ねらい】

- ①歴史的価値のある写真・動画を保存する。
- ②事業を通じて町民参加を図る。
- ③成果物を広く利用してもらう。

※自己評価【 B 】

【理由】

写真・動画は目標を上回ってデジタル化でき、地域の新聞にも取り上げられ話題になったが、住民を巻き込んでという点ではさらに努力が必要である。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

写真の保存に関しては、区に働きかけ広く町民からの提供を呼びかける。ワークショップは30年度も1回行うが、より多くの方々に参加していただけるよう回覧文書を作成する。あわせて宿場街道館での写真展とトークイベントも開催する。31年度に小冊子を作成する計画で、30年度は写真集制作実行委員会を立ち上げ、町民の方々に参加していただく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある